

<p>1. 武藤 正信 (創風)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 「あんしん」「まなび」「いきがい」「にぎわい」の 4 つの視点で整理した公約を着実に推進するほか、「人が輝くまちづくり」、「すこやかなまちづくり」を通じた「人が生き生きと暮らし、集う、誇りと愛着を持つことのできる活力に溢れたまち」の実現に向け、施策をより効果的に展開し、充実したいとしているが、平成 26 年度予算編成において、「人が輝くまちづくり」、「すこやかなまちづくり」を通じた「人が生き生きと暮らし、集う、誇りと愛着を持つことのできる活力に溢れたまち」の実現に向け、4 つの視点をどう関連付けているのか総括的に聞きたい。</p> <p>(2) 平成 27 年度以降、普通交付税の合併特例措置が段階的に縮小し、財政の逼迫が想定されるとあるが、それを見越し、平成 26 年度予算編成において考慮した点はあるか。また、普通交付税の算定基準見直しの動きについて、動向を把握しているか。</p> <p>(3) 国では、今冬の大雪等の災害により多大な被害を受けた地方公共団体に対し、約 67 億円の特別交付税を繰上げ交付するとしているが、平成 26 年度予算への影響はどうか。</p> <p>(4) 平成 26 年 4 月から消費税率が 8% に改定されるが、地域経済への影響や地方消費税交付金の増額をどう見込んで平成 26 年度予算を編成したのか。</p> <p>(5) 3 つの重点テーマの 1 つとして掲げた中山間地域の振興において、中山間地域の現状を踏まえ、平成 26 年度の予定事業をどう評価しているか。また、中山間地域の振興策全体の中で力点をどこに置いているのか聞きたい。</p>
--------------------------	---

<p>2. 草間 敏幸 (新政)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 総合事務所の産業建設グループ業務の集約について、平成 26 年度から本実施するとしているが、試行期間の課題をどのように検証し、どう改善したか。</p> <p>(2) 中心市街地活性化推進室を商業中心市街地活性化推進室に改め、産業振興課内に設置するとしているが、どのような効果を期待するか。</p> <p>2. 議案第 17 号平成 25 年度上越市一般会計補正予算（第 6 号）について</p> <p>(1) 中小企業融資支援事業において、約 6 億円減額補正されているが、予算額は適切だったか。</p> <p>3. 議案第 1 号平成 26 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 平成 26 年度の合併特例債を約 44 億円発行するとしているが、これにより発行総額はいくらになるのか。また、今後の発行予定額はどうか。</p> <p>(2) 上越市合併 10 周年事業について、式典の実施時期を平成 27 年 4 月 29 日としているが、適切と考えているか。</p> <p>(3) えちごトキめき鉄道への出資は、並行在来線への投資・支援スキームに基づく追加出資であるが、えちごトキめき鉄道の今年度事業等の報告について、市が承知している範囲で聞きたい。</p> <p>(4) 平成 27 年度以降の生活交通の維持確保や北陸新幹線開業後の当市の目指すべき公共交通の姿を構築するため、市民、交通事業者、行政等が一体となって協議し、総合的な交通計画を策定するとしているが、具体的な協議方法や策定までのスケジュールを聞きたい。</p> <p>(5) 消費税率の引き上げに伴う対策として、プレミアム付き商品券の発行に対する助成、住宅リフォーム補助金の継続をあげているが、経済効果をどう見込んでいるか。</p> <p>(6) 観光振興対策事業で北陸新幹線開業記念の頸北地区誘客イベントへの補助は、どのようなイベントを想定しているのか。</p>
--------------------------	--

<p>3. 近藤 彰治 (市民クラブ)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 普通交付税の合併特例措置が段階的に縮小する中、市長公約を着実に推進するとしているが、平成 26 年度予算や 2 期目の市政運営における公約実現に向けた決意を聞きたい。また、普通交付税については算定基準を見直す動きがあるようだが、動向を把握し、財政計画にどう反映させていくか見通しを聞きたい。</p> <p>(2) 産業建設グループ業務の集約については、平成 26 年 4 月から本実施するとしているが、各地域協議会等の合意は得られたのか。</p> <p>2. 議案第 1 号平成 26 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 並行在来線対策事業において、在来鉄道の利便性の維持・向上及び利用促進を図るため、運行ダイヤや乗り継ぎなどを鉄道事業者等へ働きかけるとしているが、対策は十分といえるのか。</p> <p>(2) 東城保育園の民営化に向け、施設改修を行うとともに引継・共同保育を実施し、移管に向けた環境を整えるとしているが、公立保育園を民営化するに当たっての課題をどう認識しているか。また、公立保育園の民営化について、具体的な全体的計画等はあるのか。</p> <p>(3) 平成 26 年度が事業計画の最終年度となる地域事業は、平成 26 年度中に完了できる見込みとしているが、特別な事情で完了できない事業は、翌年度に継続されるのか。</p> <p>3. 議案第 17 号平成 25 年度上越市一般会計補正予算（第 6 号）について</p> <p>(1) 土木費において多額の明許繰越が見込まれているが、平成 26 年度中に工事が完了するよう、適切な時期に発注することは可能か。また、発注にあたっては、東日本大震災以降、作業員の不足や資材の高騰等の影響により、入札時の不調が懸念されるが、事業が予定どおり行われる見込みがあるのか聞きたい。</p>
-----------------------------	---

<p>4. 杉田 勝典 (公明党)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 合併特例措置の段階的縮小に伴う普通交付税の減額を背景にした財政健全化を進める中で、新年度予算編成で取り組んだ歳出削減策や経常経費削減策の主なものは何だったのか。</p> <p>(2) 高田開府 400 年記念事業や北陸新幹線開業イベントを通じて、魅力発信や「おもてなしの充実」を図るとしているが、市民や市出身者を巻き込んだ、広がりのある取り組みや情報発信の充実についてどう考えているか。</p> <p>(3) 消費税率の引き上げによる地域経済への影響を緩和するための取組は、どの程度の効果を見込んでいるのか。</p> <p>(4) 15 カ月予算として、約 17 億円多い約 177 億円の普通建設事業費が計上されたが、人手不足等により事業執行ができない事態は生じないか。また、事業の繰越が増加することはないか。</p> <p>2. 議案第 1 号平成 26 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 中山間地域の暮らしを支えることの厳しい実態を踏まえ、来年度取り組むふるさと支え合い活動推進事業補助金について、集落と集落出身者等との連携とあるが、具体的にどのような連携を想定しているのか。</p> <p>3. 議案第 7 号平成 26 年度上越市介護保険特別会計予算について</p> <p>(1) 第 6 期介護保険事業計画・第 7 期高齢者福祉計画を策定するが、地域包括ケアシステムの構築に向けて、どのような取り組みを進めていくか。</p> <p>4. 議案第 5 号平成 26 年度上越市下水道事業特別会計予算について</p> <p>(1) 地方公営企業法適用基本計画策定事業の課題や今後の見通しについてどう考えているのか。また、企業会計へ移行した場合の効果はいつ頃現れるのか。</p>
---------------------------	---

<p>5. 内山 米六 (みらい)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 「にぎわい」の視点において、「県立武道館の建設に向けて県と連携を深めるとともに、東京オリンピックに向けた合宿の誘致など、北陸新幹線開業という百年に一度の好機を捉え、」と述べておられるが、「東京オリンピックに向けた合宿の誘致」とはどのような構想なのか聞きたい。</p> <p>(2) 「生活・都市基盤ネットワークの最適化」において、都市基盤の主要インフラは、「つくる」ことから「維持する」ことへ比重を移し、道路施設では予防保全的管理を実施して施設の長寿命化を図るとしているが、県立武道館や新水族博物館の建設に伴い予想される来訪車両の増加も考慮した上でのことか聞きたい。</p> <p>2. 議案第 1 号平成 26 年度一般会計予算について</p> <p>(1) 企画費中、新水族博物館整備事業では、まちを元気にする一大集客施設として整備するとしているが、何をもって一大集客施設としているのか聞きたい。</p> <p>(2) 商工振興費中、企業誘致促進事業では、ターゲットとする業種、場所を絞り込んだ誘致活動を行うとし、業種では卸売業や道路貨物運送業、食品産業等を挙げているが、現体制で誘致活動は十分か。また見通しはどうか。</p> <p>(3) 農業振興費中、担い手育成確保支援事業では、強い農業経営体の育成や農業の持続的発展を図るとしているが、中山間地域においては、農業における喫緊の課題である農地の維持をはじめ農道や水路、畦畔の除草作業など不足する労力の確保と農業者の高齢化等に伴う担い手の確保に対応できるのか。</p> <p>(4) 普通交付税の減額の理由として、市税の増加による基準財政収入額の増加や基準財政需要額における算定内容及び地域経済・雇用対策費の見直しを挙げているが、固定資産税の償却資産の増加以外の具体的な根拠を聞きたい。</p>
---------------------------	--

<p>6. 橋爪 法一 (日本共産党議員団)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p> <p>(1) 平成 27 年度以降、普通交付税の合併特例措置の段階的縮小が始まるが、合併算定替終了後の新たな支援措置も打ち出されようとしている。所信表明では、この点にまったく触れられていないが、どう考えて編成したのか。</p> <p>(2) 市が所有する施設の長寿命化方針が随所に出ているが、基本的な方針をききたい。</p> <p>(3) 将来に向けた投資のために、「サービス水準の見直しも視野に入れた歳出の構造改革」の下で財政健全化の取り組みを強化するとしているが、行政サービスの水準低下につながる懸念はないか。</p> <p>(4) 当市の平成 25 年度の災害は、合併後の災害の中では比較的軽度のものが多かった。そういう状況下での総合事務所の産業建設グループ業務集約の試行で、集約が今後予想される大きな災害対策でも効果を発揮できると判断しているのか。</p> <p>(5) 産業建設グループ業務集約の試行の目的のひとつは、市民サービスを維持できるかどうかだったが、実際にサービスを受けた人たちからの声をどう集約したのか。また、その結果はどうか。</p> <p>2. 議案第 1 号平成 26 年度上越市一般会計予算について</p> <p>(1) 食育推進支援事業費が大幅に減額されているが、「本市における食に関する地域の特性をいかした食育の推進」に支障が出るのではないか。</p> <p>(2) 避難所等整備事業において、避難所について災害の種別を考慮した見直しを行うとしているが、その基本的な方針をききたい。</p> <p>(3) 中山間地域振興事業において、T 型集落点検と新規事業の「ふるさと支え合い活動推進事業補助金」との関連をききたい。</p> <p>3. 議案第 1 号平成 26 年度上越市一般会計予算及び議案第 38 号上越市立水族博物館条例の一部改正について</p> <p>(1) 条例の改正理由で、設計段階から「民間の経営ノウハウや専門的な能力を活用するため、指定管理者制度を導入する」としているが、条文からは内容が見えない。具体的にどうするのか。</p>
---------------------------------------	--